

テーマ

『幼小中連携教育を地域とともに、 そして街づくり』～交流～

目標

地域と学校園の連携・協働の取組を充実

今年度の取組紹介

今年度は、サブテーマにあるように、『交流』を強く意識した取組に重点をおいて活動し、中でも地域交流・国際交流の活動を活発に行うことができました。地域交流「ゴーヤの調理にチャレンジ」では、毎年ボランティアと児童でゴーヤの苗を植え、育て、収穫してきた活動に加えて、今年はみんなと一緒に調理して味わい、沖縄の人にお話を聞くということもできました。

国際交流では、キャンベラ市のハリソン校生徒と職員の来校時にボランティアの方にホストファミリーや通訳として活躍していただきました。また、コーディネーターが先生となり、9年生とともにハリソン校の生徒・職員が交流しながら、うちわに墨と筆で好きな漢字を書くという体験を一緒に行い、学校と地域の連携による取組を進めることができました。

地域連続研修を2回開催し、冬休みには初めて児童・生徒の参加を得て、共に「地域」について考えることができました。



今年度のまとめ

小中一貫教育校となって4年。開校当初から地域が学校を支えながら、小中一貫教育を推進していくという積極的な姿勢で本事業に取り組んできました。本事業に対して地域の理解と協力が年々広がってきており、中でも年度始めのボランティア募集と説明会を行った際には、ハリソン校の生徒来校に関心を持った方達がボランティア登録を行い、協力いただくことができました。また、環境整備等の学校支援を中心に、児童・生徒とボランティアの交流を行い、学校と地域の結びつきを強め、地域の教育力の再生に結びつく取組を進めることができました。また、地域のイベントに模擬店の出店を初めてコーディネーターで取り組み、自己資金を得るための活動も行うことができました。

来年度に向けて

ボランティアと子どもたちの交流できる支援活動が増えてきていますが、まだまだ必要だと考えています。学校園の協力を得て、これまでの学校園支援活動や連絡方法等を見直し、工夫・改善を進め取り組んでいきます。また、地域教育協議会の自己資金獲得活動を継続して進めるとともに、その方法を子どもたちとも協働しながら行えるように検討を進めます。

テーマ

地域の教育力を生かした小中一貫教育の推進

目標

今まで地域の協力も得て整えてきた小中一貫教育の基盤をさらに充実させ、地域の方々の協力を得て、小中一貫教育の推進を図る。

今年度の取組紹介

富雄第三小中学校に、9月下旬 交流校であるオーストラリア・キャンベラ市のハリソンスクール(本校と同じ小中一貫教育校)から生徒15名と先生等4名が来校されました。来校前には手紙の交換やビデオコール等を行いました。中学部では、奈良観光に役立つように絵なども入れて観光地紹介を作り、優れた作品を冊子にまとめ進呈し喜ばれました。英会話の時間には、ハリソン生を中心にグループで話が弾みました。いっしょに箏を弾くこともできました。2日間ハリソンの生徒と一緒に学習することで、英語で話したり、互いの国の生活や学校等について学んだりする機会をつくることができました。これらの活動を地域教育協議会の協力を得て、実施することができました。「いつか使える英語から今使える英語をめざす」をコンセプトに取り組んでいる本校ならではの取組です。



今年度のまとめ

ハリソンスクールとの交流は、学校単独ではできなかった取組です。コーディネーターの協力をはじめ、地域の方がホストファミリーや通訳、観光案内等を引き受けてくださったおかげで、進めることができました。また、奈良市教育フォーラムの会場校として、環境整備等にもボランティアの皆さまの協力を得て、きれいにしていただき、施設一体型小中一貫教育校としての良さを多くの方に見てもらうことができました。ボランティア登録していただいている方は多いのですが、参加していただいている方が減少傾向にあるのが大きな課題です。

来年度に向けて

日常的な活動を見直し、ボランティアのみなさんが「やってよかった」と思ってもらえるようにさらに工夫改善を進めていきたいと考えています。具体的には、ボランティア情報紙の内容、地域への広報の仕方、ボランティアのみなさんに感謝の気持ちを伝えるような取組の工夫、これらを学校とコーディネーターとで協力しながら、進めていきます。

テーマ

地域の教育力を生かした小中一貫教育の推進

目標

今まで地域の協力も得て整えてきた小中一貫教育の基盤をさらに充実させ、地域の方々の協力を得て、小中一貫教育の推進を図る。

今年度の取組紹介

富雄第三小中学校に、9月下旬 交流校であるオーストラリア・キャンベラ市のハリソンスクール(本校と同じ小中一貫教育校)から生徒15名と先生等4名が来校されました。来校前にはホストファミリーの児童がビデオコールを行いました。中学生だけの来校でしたが児童も全校歓迎会や英会話科の授業等で交流することができました。また、読書活動推進事業にも力を入れ、ボランティアの方に図書室開室のお手伝いや図書の整理等をしてもらいました。裁縫や調理実習の際に5・6年生の家庭科授業の補助もしていただきました。

夏休みには、3日間に渡って「夏休み子どもプロジェクト」を開催しました。タイやインドの方と交流したり、木工工作にチャレンジしたり、児童とボランティアの方が育てたゴーヤを使って料理教室を開いたりして、子どもたちと楽しく有意義な企画を行うことができました。

**今年度のまとめ**

ハリソンスクールとの交流は、学校単独ではできなかった取組です。コーディネーターの協力をはじめ、地域の方がホストファミリーや通訳、観光案内等を引き受けてくださったおかげで、進めることができました。また、奈良市教育フォーラムの会場校として、環境整備等にもボランティアの皆さまの協力を得て、きれいにしていただき、施設一体型小中一貫教育校としての良さを多くの方に見てもらうことができました。ボランティア登録していただいている方は多いのですが、参加していただいている方が減少傾向にあるのが大きな課題です。

来年度に向けて

日常的な活動を見直し、ボランティアのみなさんが「やってよかった」と思ってもらえるようにさらに工夫改善を進めていきたいと考えています。具体的には、ボランティア情報紙の内容、地域への広報の仕方、ボランティアのみなさんに感謝の気持ちを伝えるような取組の工夫、これらを学校とコーディネーターとで協力しながら、進めていきます。

テーマ

しなやかな心と体を育てよう

目標

- ・地域の人や様々な人とのかかわりを大切にする。
- ・友達と一緒に、体を十分動かして遊ぶことを楽しむ。

今年度の取組紹介

お茶会

地域の指導者に教えていただき、年7回のお茶会を行っています。先生から季節のお話を聞いたり、お茶の作法や礼儀を学んだり、相手のためにお茶をたてます。親子でお茶会の機会には、「おいしくなあれ」と、心を込めてお茶をたてていました。日本の伝統文化を体験し落ち着いた時間をもつことができました。また、地域・家庭・幼小中・西養護学校で開催する地域ふれあい文化交流会に参加し、その中でもお茶会を開き、地域の方々



わくわくタイム

子どもたちの体力の向上を目指して、地域の指導者やボランティアの方々によるわくわくタイム（体操教室）が位置づいています。今年度は運動会の体操を親子ふれあい体操にして、一緒に体を動かす心地よさを味わうことができました。園の生活の中でも、戸外で遊ぶ時間を十分とったり、遊びの中で色々な動きができるよう、園庭の遊具にロープを張って遊具の工夫をしたり、一輪車など新しい環境を用意しました。保育中の遊びや園庭開放でも、のびのび遊ぶ姿が見られます。



今年度のまとめ

地域の方々の温かいかかわりと、教育力で、幼児たちは、恵まれた環境の中で豊かな心を育んできました。今年度のテーマ「しなやかな心と体を育てよう」のもとに、楽しみながら体を動かす活動や保護者や地域の方にたくさんの力をいただいて、いろいろな心躍る体験（未就園児保育・餅つき・ふれあいコンサート・文楽・お茶会等）ができました。幼小中の連携では、計画的に交流を持ち、新たに富雄保育園や奈良西養護学校との交流も持つことができ連携が深まりました。

来年度に向けて

地域の教育力を生かし、次年度もこれまで積み上げてきた実践を継続するとともに、ボランティアの方と子どもたちがふれあう支援活動（未就園児保育・行事参加等）を増やしたり、地域の交流事業（夏祭り・ふれあい文化交流会等）に進んで参加したりして、より一層の連携を図っていき、地域に密着した幼稚園を目指していきたいと考えています。

また、園内環境として、絵本の部屋を整備して（本の修理・分類するシールの張替え等）子どもたちが、絵本に興味を持ち親しめるような、魅力的な部屋作りを進めます。